

Symphony

TOKYO SYMPHONY ORCHESTRA MONTHLY CONCERT BROCHURE

2025
AUGUST

No. 146

Sat. 2nd August
Tokyo Opera City Series

No. 4

Fri. 15th August
Karuizawa Series

No. 733

Sat. 23rd August
Subscription Concert

No. 142

Sun. 24th. August
Niigata Subscription Concert

8



TOKYO
SYMPHONY
ORCHESTRA

Jonathan Nott, *Music Director*



TOKYO SYMPHONY ORCHESTRA

Jonathan Nott, Music Director

音楽監督	ジョナサン・ノット
桂冠指揮者	秋山和慶 ◆
	ユベール・スダーン
正指揮者	原田慶太楼
名誉客演指揮者	大友直人
永久名誉指揮者	アルヴィド・ヤンソンス ◆
	上田 仁 ◆
	遠山信二 ◆

名誉コンサートマスター 大谷康子

第1コンサートマスター	小川にキティンブレブ
	小林杏成
コンサートマスター	田尻 順

会 長	澤田秀雄
理事長	岡崎哲也
副理事長	平澤 創
	依田 巽
専務理事	廣岡克隆
理 事	阿部武彦 辻 敏
	池辺晋一郎 永山 治
	伊藤美樹 夏野 剛
	大橋 博 南部靖之
	コシ/ジュンコ 福川伸次
	菅谷貴子 増岡聡一郎
	竹中平蔵 森 京子
監 事	寺西基之
	渡邊芳樹
評議員長	梅沢一彦
評議員	鷺海量明 星 久人
	片山泰輔 山添 茂
	加藤英輔 芳野まい
	金山茂人
最高顧問	金山茂人
特別顧問	飯島延浩 福田紀彦
	草壁悟朗

【ハーブ寄贈：環境ステーション株式会社】

1st Violins

○木村正貴
○堀内幸子
○森岡ゆりあ
小川敦子
小山あずさ
立岡百合恵
土屋杏子
中村楓子
水谷有里
吉川万理

2nd Violins

○清水泰明
○服部亜矢子
○加藤まな
○福留史紘
河裾あずさ
鈴木浩司
辻田薫り
阿部貢真
坂井みどり

Violas

○青木篤子
○武生直子
○西村真紀
○多井千洋
○山廣みほ
新井瑞穂
小西応興
鈴木まり奈

Cellos

☆伊藤文嗣
■笹沼 樹
○山井真由美
内山剛博
蟹江慶行 ●
樋口泰世
福岡茉莉子
渡邊ゆかり

Double Basses

■助川 龍
○コーディ・ローズブーム
○北村一平
○久松ちず
安田修平
渡邊淳子
内岡沙月 *

Flutes

■相澤政宏
○竹山 愛

Flute & Piccolo

濱崎麻里子

Oboes

○荒 絵理子
○荒木良太
浦脇健太

Oboe & English horn

最上峰行

Clarinets

○エマニュエル・ヌヴー
○吉野亜希菜
近藤千花子

Bassoons

○富士マリ子
○福井 蔵
坂井由佳
前関祐紀

Horns

○上間善之
加藤智浩
白井有琳
藤田麻理絵

Trumpets

○澤田真人
○ローリー ディラン
野沢岳史 ●
松山 萌

Trombones

○大馬直人
○鳥塚心輔
住川佳祐

Bass Trombone

藤井良太

Tuba

近藤陽一

Timpani & Percussions

○清水 太
○山村雄大
武山芳史
網川淳美

Harp

渡辺沙羅

Librarians

林 知也
加藤幸子

Stage Managers

西岡理佐
山本 聡

楽団員

井伊 準 ◆

楽団長

廣岡克隆

編成局シニアディレクター

藤原 真

編成局パーソネルマネージャー

謝名元 民

楽団委員

北村一平 (議長)
多井千洋 (書記)
浦脇健太
鈴木浩司
福留史紘
最上峰行

事務局長

辻 敏

事務局

■尾木貴雄
□高瀬 緑
市川萌都
伊藤瑛海
榎 日向
小川博司
相原美砂
長久保宏太朗
三橋真琴
山田道子
■堀川純子
藤山保子 *
山本未央子 *

名誉団友
深江泰輔 ◆
三木靖雄 ◆

団 友

天野佳和
新井 汎
安藤史子
池田 肇
石川晴依世
今村和弘
岩澤淳子
上原正二
上原規照
上原未莉
内田彬雄
内田乃側子
宇都 実
柳田 学
大隅雅人
大塚正昭
大室廣男
大和田浩明
大和田ルース
小川さくら
萩野 昇
奥田昌史
前川健二
加護谷直美
笠原勝一
甲藤さち
加藤信吾
金澤 茂
久保田一穂
熊谷仁士
荻原亮司
小林照雄
小林利彰
小林京子
阪本正彦
佐川聖二
佐々木真
塩谷しずか
篠崎 隆
菅野明彦
杉浦直基
鈴木一輝
曾根敦子
高野成之
武田英昭
田中真輔
千村雅信
十亀正司
豊山 悟
永井聖乃
中塚和良
中塚剛則
中山 智
新澤義美
西依智子
西脇秀治
野村真澄
馬場隆弘
原田美保子
日野 奏
ペナン・チ
ボーマン
前田健一郎
松崎里絵
丸山正昭
三浦正信
宮原祐子
宮本直樹
宮本 睦
森みさ子
諸橋健久
渡辺 功
渡辺哲郎
渡辺裕子

☆ソロ首席奏者 ■客演首席奏者 ●首席奏者 ○フォアシュペラー ●インスペクター

■本部長 □部長 □シニアディレクター *研究員・準事務局員 ◆故人

演奏会でのお願い

Concert Manner Guide



チケットに記載された 座席でご鑑賞ください

チケットに記載されている座席番号にのみ有効です。座席移動はご遠慮ください。

Please be seated at the seat number designated on your ticket.



開演前に電子機器の 電源はOFFに

マナーモードにしても振動する音が響きますので、電源は必ず切るようにしましょう。

Switch OFF your mobile telephones, wristwatch alarms and all other noise-emitting electronic devices before the performance begins.



補聴器の確認を

ご使用のお客様は、きちんと装着されているか今一度お確かめください。

For our guests who wear hearing aid devices, please check that your device is suitably set before the performance begins.



周囲の視界を遮るような 行為はやめましょう

身を乗り出しての鑑賞や、つばの広い／高さのある帽子は脱いでご鑑賞ください。リズムをとる行為もおやめください。

Please refrain from wearing hats or rhythmically swaying in a way which could disturb or obstruct the view of those seated near you.



開演後の入場を 制限させていただきます

開演後のご入場は制限させていただきます。

You will not be permitted to enter the concert hall during a performance.



演奏中の飲食は ご遠慮ください

のど飴等の包み紙を開ける音は、場内に響きますのでご遠慮下さい。

Refrain from eating and drinking during the performance.



演奏中はお静かに

手荷物につけている鈴やビニール袋等は音を立てないようにご配慮下さい。演奏中の私語、プログラムやスコア等紙類をめくる音、かばんのチャック等をさわる音も思っている以上に場内に響きます。

Please be silent during the performance.



咳、くしゃみをする際は ハンカチで押さえましょう

ハンカチをあてがうことで音量はかなり軽減されます。

Please use a handkerchief to help suppress the noise from any coughing or sneezing.



曲の余韻も 演奏のうちです

音が消えゆく余韻を十分に感じてから拍手をお送りください。

The lingering sounds and moments are part of the performance. Please hold your applause or shouting your appreciation until the actual end of the performance.



カーテンコールを除いて、ホール内での録音・録画・写真撮影は禁止です

終演後のカーテンコールの撮影は、自席にご着席のまま、周りのお客様へご配慮いただきますようお願いいたします。

※前半終了時、アンコール演奏中は撮影いただけません。

※スマートフォン、携帯電話以外のカメラでの撮影、自撮り棒の使用、フラッシュの使用、目線より高い位置での撮影はご遠慮ください。

Photography, filming and recording are prohibited, but it is permitted to film the curtain call after the concert. Photography is not permitted at the end of the first half or during encore performances. Please refrain from taking pictures with cameras other than smartphones and mobile phones, using selfie sticks, using flash, and taking pictures at eye level or higher.

8/2 SAT.

東京オペラシティシリーズ 第146回

2025年8月2日(土) 14:00 東京オペラシティコンサートホール

Tokyo Opera City Series No.146

Sat. 2nd August 2025, 14:00 Tokyo Opera City Concert Hall

リオ・クオクマン [指揮]

ハオチェン・チャン [ピアノ]

小林 啓成 [コンサートマスター]

LIO Kuokman, Conductor

Haochen ZHANG, Piano

KOBAYASHI Issey, Concertmaster

ラフマニノフ:ピアノ協奏曲 第3番
二短調 op.30(40')

I.アレグロ・マ・ノン・タント

II.間奏曲:アダージョ

III.フィナーレ:アツラ・プレーヴェ

休憩(20')

RACHMANINOFF: Piano Concerto No.3
in D minor op.30(40')

I. Allegro ma non tanto

II. Intermezzo. Adagio

III. Finale. Alla breve

Intermission(20')

ベルリオーズ:幻想交響曲 op.14(55')

I.夢、情熱

II.舞踏会

III.野の風景

IV.断頭台への行進

V.魔女の夜宴の夢

BERLIOZ: Symphonie Fantastique op.14 (55')

I. Rêveries, Passions

II. Un Bal

III. Scène aux Champs

IV. Marche au Supplice

V. Songe d'une Nuit du Sabbat

●主催/公益財団法人東京交響楽団

●助成/文化庁文化芸術振興費補助金(舞台芸術等総合支援事業(公演創造活動)) | 独立行政法人日本芸術文化振興会

楽曲解説はP.6をご覧ください



8/2 SAT.



LIO Kuokman

Conductor

リオ・クオクマン
 [指揮]

マカオ生まれ。現在、スロヴェニア放送響首席指揮者、マカオ管音楽監督・首席指揮者、香港フィル常任指揮者、関西フィルアーティスティック・パートナー、マカオ国際音楽祭プログラム・ディレクターを務めている。

香港演芸学院、ジュリアード音楽院、カーティス音楽院、ニューイングランド音楽院でピアノと指揮を学び、2014年のスヴェトラノフ国際指揮者コンクールで最高位を受賞。2016年までフィラデルフィア管でネゼ＝セガンの副指揮を任された。

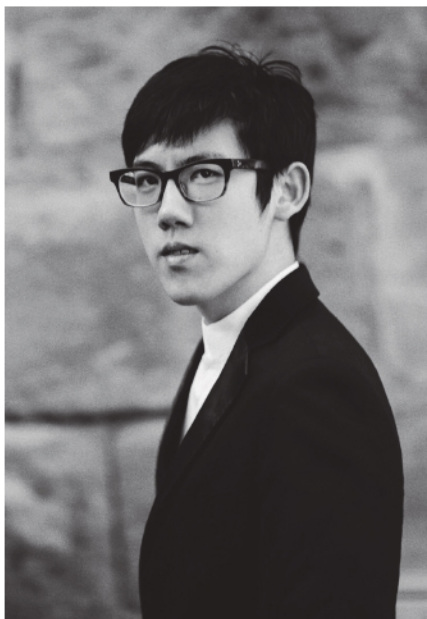
ウィーン響、フランス放送フィル、トゥールーズ・キャピトル国立管、デトロイト響、ソウル・フィル、N響、京響などに客演を重ねるほか、オペラでは《ラ・ボエーム》、《愛の妙薬》、《道化師》、《トゥーランドット》、《イル・トロヴァトーレ》、《リゴレット》、《蝶々夫人》、《カルメン》、《セビリアの理髪師》をはじめ、多数のプロダクションを指揮。

芸術文化の発展への貢献が評価され、香港とマカオの両政府から賞や勲章を授与されている。

Born in Macao. Currently serving as Chief Conductor of RTV Slovenia Symphony, Music Director and Principal Conductor of the Macao Orchestra, Resident Conductor of the Hong Kong Philharmonic, Artistic Partner of the Kansai Philharmonic, and Programme Director of the Macao International Music Festival, Lio Kuokman is praised by the Philadelphia Inquirer as "a startling conducting talent." He won the second prize at the Svetlanov International Conducting Competition in 2014 and has served as Assistant Conductor with Yannick Nézet-Séguin at the Philadelphia Orchestra.

Lio has collaborated with many leading orchestras such as Vienna Symphony, Orchestre Philharmonique de Radio France, Orchestre National du Capitole de Toulouse, Detroit Symphony, Seoul Philharmonic, NHK Symphony and the City of Kyoto Symphony. In the field of opera, he has conducted La bohème, L'elisir d'amore, Pagliacci, Turandot, Il Trovatore, Rigoletto, Madama Butterfly, Carmen and Il Barbiere di Siviglia, among others.

For his contributions to the development of arts and culture, Lio received a Certificate of Commendation and Medal of Cultural Merit from both governments of Hong Kong and Macao.



Haochen ZHANG

Piano

ハオチェン・チャン
[ピアノ]

ハオチェン・チャンは、2009年の第13回ヴァン・クライバーン国際コンクールで同コンクール史上アジア人初の優勝者となって以来、その深い音楽的感性、奔放な想像力、めざましいヴィルトゥオジティを兼ねそなえた稀有な存在として世界各地の聴衆を魅了してきた。

2023年8月、最新盤「リスト：超絶技巧練習曲集」(BIS)をリリース。同盤は広く賞賛を得て、チャンは世界的なピアノ雑誌「インターナショナル・ピアノ」の同年9月号の表紙を飾った。翌10月には、「グラモフォン」誌が同盤を月間最優秀アルバムの一つに選出。

リサイタル・ツアーおよびオーケストラとの協奏曲ツアーのために定期的に世界各地を訪れている。これまでロリン・マゼール、リッカルド・シャイー、ワレリー・ゲルギエフ、ヤニック・ネゼ＝セガン、トゥガン・ソヒエフらの指揮のもと、ルツェルン祝祭管、ニューヨーク・フィル、フィラデルフィア管、ミュンヘン・フィル、NHK交響楽団など、世界トップクラスのオーケストラと共演。

Since his gold medal win at the Thirteenth Van Cliburn International Piano Competition in 2009, having been the first Asian gold medalist in the history of this top international piano competition, Haochen Zhang has captivated audiences all over the world with a unique combination of deep musical sensitivity, fearless imagination, and spectacular virtuosity.

In August 2023, Haochen released his latest album on BIS, performing Liszt's Transcendental Études. Due to the widespread acclaim he received, Haochen graced the cover of International Piano, an authoritative worldwide piano magazine, in September of the same year; the following month, the album was awarded Gramophone's Recording of the Month.

Haochen regularly holds recitals and concerto tours with symphony orchestras worldwide. In recent seasons, he has collaborated with conductors including Lorin Maazel, Riccardo Chailly, Valery Gergiev, Yannick Nézet-Séguin, Tugan Sokhiev, and others, and with renowned orchestras such as the Lucerne Festival Orchestra, New York Philharmonic Orchestra, The Philadelphia Orchestra, Munich Philharmonic Orchestra, NHK Symphony Orchestra, and so on.

8/2 SAT.

セルゲイ・ラフマニノフ(1873 ~ 1943)

ピアノ協奏曲 第3番 二短調 op.30

1909年、ラフマニノフは初めてのアメリカ演奏旅行のためにこの協奏曲を作曲し、同年11月にニューヨークで自らのピアノ演奏で初演し、大成功を収めた。名ピアニスト、ヨゼフ・ホフマンに献呈されている。ロシアの聖歌を彷彿とさせる主題が全楽章を構造的に緊密に結びつけると同時に、華麗なピアノ書法が展開されるという点で、第2番と共通するが、構成面における洗練さの度合いは第3番で一層強まっている。充実した内容をもつものの、極めて高度なピアノのテクニックが要求されるため、演奏される機会に恵まれなかった時代もあったが、現代では第2番と並ぶ人気を誇り、世界中で愛奏されている。

第1楽章 アレグロ・マ・ノン・タント

自由なソナタ形式。控えめな動きで狭い音程間を行き来する第1主題に関して、作曲家自身は民謡や聖歌からの借用ではなく、ただ「歌い手が歌うように旋律を歌わせなかった」と述べているが、実際には古い聖歌の旋律との類似性が指摘されている。ラフマニノフの体の中に染み込んでいた聖歌のイントネーションが無意識に引き出されたのだろうか。夢見心地の歌謡的な第2主題も、対旋律と絡み合いながら雄大な景色を紡いでいく点で、ロシア民謡を思い起こさせる。

第2楽章 〈インテルメッツォ〉 アダージョ

三部形式(変奏曲)。優美でメランコリックな主題が様々に変奏されていく。中間部では軽快なリズムとなり、ワルツが優しく奏でられるが、ここで第1楽章の第1主題を連想させる楽想が見え隠れする。

第3楽章 〈フィナーレ〉アツラ・ブレーヴェ

自由なソナタ形式。第2楽章から続けて始まる。第1主題はロシア正教の復活祭の賛歌を思わせる華やかさをもち、そのエネルギーに突き動かされるかのように音楽が疾走する。展開部では第1楽章第2主題を基にした楽想が現れ、きらびやかなピアノの高音域、鋭いリズムで高揚感を強め、さらに再現部から終曲部分にかけての絢爛豪華な音の洪水が聴く者を圧倒する。

高橋健一郎 Text by TAKAHASHI Kenichiro

作曲：1909年9月23日完成

初演：1909年11月28日ニューヨーク、ラフマニノフ自身のピアノ、ウォルター・ダムロッシュ指揮、ニューヨーク交響楽団

編成：独奏ピアノ、フルート2、オーボエ2、クラリネット2、ファゴット2、ホルン4、トランペット2、トロンボーン3、チューバ、ティンパニ、大太鼓、シンバル、小太鼓、弦5部

エクトル・ベルリオーズ(1803～1869)

幻想交響曲 op.14

エクトル・ベルリオーズ(1803～1869)はフランスで活躍した作曲家である。彼は、オペラが重視され、器楽曲とりわけ交響曲にはあまり関心が向けられなかった当時のフランス音楽界にあって、管弦楽作品の分野でも大きな功績を残した。とくにこの《幻想交響曲》は、その並外れた独創性で交響曲の歴史において際立っている。

まず特徴的なことは、「ある芸術家の人生におけるエピソード」——ある若い芸術家が恋の苦しみからアヘン自殺を試みるものの、薬が致死量に達しなかったため奇妙な夢を見る、という話——が音楽で描写されることである。しかも彼は、そのストーリーの理解が音楽の理解に不可欠であるとして、初演ではそれを印刷して配布した。

ベルリオーズが「固定楽想(イデー・フィクス)」と呼ぶ旋律が、作品全体を通してさまざまに姿を変えて用いられることも重要な特徴である。その旋律は頭から離れない恋人を象徴している、と作曲者は説明している。

さらに豊かな管弦楽法もこの作品の魅力である。ハープやイングリッシュホルン、鐘など、当時交響曲には使われていなかった楽器の使用、コル・レーニョといった弦楽器の特殊奏法などで、音色のパレットは大きく広がった。

第1楽章「夢－情熱」は、理想的な女性に「狂おしいほど恋こがれるようになる」様子を描く。**第2楽章「舞踏会」**は、当時の舞踏会で人気だったワルツ。3拍子に変形されたイデー・フィクスが優雅に響く。**第3楽章「野の風景」**は、伝統的な交響曲では緩徐楽章にあたる部分で、羊飼いが吹く笛が舞台上のイングリッシュホルンと舞台裏のオーボエとで空間的にも表現される。**第4楽章「断頭台への行進」**は、恋人を殺してしまった主人公がギロチンにかけられるまでをグロテスクに描写する。**第5楽章「魔女の夜宴の夢」**は魔女たちの異様な集いの場面。グレゴリオ聖歌の〈ディエス・イレ〉が鳴り響き、この楽章の主題と対位法的に絡み合い、クライマックスを迎える。

越懸澤麻衣 Text by KOSHIKAKEZAWA Mai

作曲：1830年2月～4月

初演：1830年12月5日パリ音楽院ホール、フランソワ・アブネック指揮

編成：フルート2(ピッコロ持替1)、オーボエ2(イングリッシュホルン持替1)、クラリネット2(小クラリネット持替1)、ファゴット4、ホルン4、トランペット2、コルネット2、トロンボーン3、チューバ2、ティンパニ2、シンバル、大太鼓、小太鼓、ハープ2、弦5部、舞台裏オーボエ1、舞台裏鐘

8/15 FRI.

軽井沢シリーズ 第4回 Karuizawa Series No.4

0歳からのコンサート 2025年8月15日(金)11:00 軽井沢大賀ホール

Fri.15th August 2025,11:00 Karuizawa Ohga Hall

金子三勇士 [ピアノ]

KANEKO Miyuji, Piano

小川ニキティンブレブ [ヴァイオリン]

OGAWA Nikitingleb, Violin

原田慶太楼 [お話]

HARADA Keitaro, Speaker

山下 守 [監修]

YAMASHITA Mamoru, Supervisor

・ショパン:ワルツ 第6番 変ニ長調 op.64-1「小犬のワルツ」

・モーツァルト:ピアノ・ソナタ 第11番 イ長調 K.331「トルコ行進曲付き」より第3楽章

・リスト:ハンガリー狂詩曲 第2番 嬰ハ短調 S.244-2 他

オーケストラコンサート 2025年8月15日(金)17:00 軽井沢大賀ホール

Fri.15th August 2025,17:00 Karuizawa Ohga Hall

原田慶太楼 [指揮]

HARADA Keitaro, Conductor

金子三勇士 [ピアノ]

KANEKO Miyuji, Piano

小川ニキティンブレブ [コンサートマスター]

OGAWA Nikitingleb, Concertmaster

芥川也寸志:弦楽のための三楽章(13')

AKUTAGAWA: Triptyque for
string orchestra (13')

I.アレグロ(トリプティック)

I. Allegro(Triptyque)

II.アンダンテ(子守歌)

II. Andante(Berceuse)

III.プレスト

III. Presto

ベートーヴェン:ピアノ協奏曲 第5番
変ホ長調 op.73「皇帝」(38')BEETHOVEN: Piano Concerto No.5
in E-flat major op.73 "Emperor" (38')

I.アレグロ

I. Allegro

II.アダージョ・ウン・ポコ・モート

II. Adagio un poco moto

III.ロンド:アレグロ, マ・ノン・トロッポ

III. Rondo: Allegro, ma non troppo

休憩(20')

Intermission(20')

ベートーヴェン:交響曲 第5番 ハ短調
op.67「運命」(35')BEETHOVEN: Symphony No.5
in C minor op.67 "Destiny" (35')

I.アレグロ・コン・ブリオ

III.アレグロ

I. Allegro con brio

III. Allegro

II.アンダンテ・コン・モート

IV.アレグロ - プレスト

II. Andante con moto

IV. Allegro - Presto

●主催/公益財団法人東京交響楽団

●特別協賛/医療法人葵鐘会

●助成/令和7年度 文化庁 劇場・音楽堂等における子供舞台芸術鑑賞体験支援事業

●後援/軽井沢新聞社、FM軽井沢、軽井沢町教育委員会、一般社団法人軽井沢観光協会

楽曲解説はP.11をご覧ください





©MASATOSHI YAMASHIRO

HARADA Keitaro

Conductor

原田慶太楼
[指揮]

Permanent Conductor
正指揮者

東京交響楽団正指揮者、愛知室内オーケストラ首席客演指揮者兼アーティスティック・パートナー、米国サヴァンナ・フィル音楽&芸術監督、そして2025年7月からデイトン・フィルとデイトン・オペラ&バレエの音楽・芸術監督にも就任した、国際的に目覚ましい活躍を続ける期待の俊英。オペラでもジェームズ・レヴァインやロリン・マゼールのアシスタントを務めてアリゾナ、ノースカロライナ、シンシナティ、ブルガリア国立歌劇場などで脚光を浴び、最近では日生劇場ドニゼッティ「連隊の娘」でも舞台を力強く牽引しオペラ指揮者としての資質を感じさせた。タングルウッド音楽祭で小澤征爾フェロー賞、米国ショルティ財団のキャリア支援賞6度と日本人で初めてトップのコンダクター賞を受賞。キャッソルトン・フェスティバルにロリン・マゼールから、PMFにはファビオ・ルイジから招待を受け参加。第29回渡邊暁雄音楽基金音楽賞、第20回齋藤秀雄メモリアル基金賞受賞。

オフィシャル・ホームページ:

kharada.com/ @KHconductor

Keitaro Harada has been the Music & Artistic Director of the Savannah Philharmonic since the 2020-21 season, transforming the orchestra with his original programs and charismatic presence, energizing audiences throughout the region. He became the Permanent Conductor of the Tokyo Symphony Orchestra from 2021, the Principal Guest Conductor and Artistic Partner of the Aichi Chamber Orchestra from 2024, and the Music & Artistic Director of the Dayton Philharmonic from July 2025. He is a promising young talent who continues to achieve remarkable success mainly in the United States, Europe, and Asia. He has built a close relationship with the NHK Symphony Orchestra, performing with them frequently and recording three albums with them. His musical vision is also diverse, ranging from symphonies, operas, and chamber music to pops, film music, educational outreach, and interdisciplinary projects, all of which enrich his programs.

kharada.com/ @KHconductor

8/15 FRI.

KANeko Miyuji, Piano

金子三勇士 [ピアノ]

2008年バルトーク国際ピアノコンクール優勝。6歳より単身ハンガリーに留学。11歳よりハンガリー国立リスト音楽院大学に入学。16歳で帰国後、東京音楽大学付属高等学校に編入。これまでにゾルタン・コチシュ、シルヴァン・カンブルラン、ジョナサン・ノット、小林研一郎、広上淳一、山田和樹、原田慶太楼など国内外の名だたる指揮者と共演。オーケストラではハンガリー国立フィルハーモニー管弦楽団、ロンドン・フィルハーモニー管弦楽団、プラハ交響楽団、東京交響楽団等と共演。キシュマロシュ名誉市民。スタインウェイ・アーティスト。



©Seiichi Saito

Miyuji Kaneko has won the Bartok International Piano Competition in Hungary, 2008. From the age of 6, he has lived in Hungary to study at the Bartok Elementary School of Music and The Special School for Exceptional Young Talents of the Franz Liszt Academy of Music. After finishing all the courses at age 16, he returned to Japan and was admitted to the Tokyo College of Music High School. He has performed with numerous orchestras including the Hungarian National Philharmonic, the London Philharmonic, Prague Symphony and Tokyo Symphony Orchestra. Also played with conductors Zoltan Kocsis, Sylvain Cambreling, Jonathan Nott, Ken-Ichiro Kobayashi, Junichi Hirokami, Kazuki Yamada and Keitaro Harada.

OGAWA Nikitingleb, Violin

小川ニキティンブレブ [ヴァイオリン]

モスクワ音楽院ヴァイオリン科、指揮科を卒業。1988年ズービン・メータ、ドミトリー・キタエンコ両氏の指揮による米ソ合同オーケストラにてコンサートマスターを務める。アルベルト・クルチ国際ヴァイオリンコンクール入賞。ロドルフォ・リピツェル国際ヴァイオリンコンクール第3位。ボリショイ劇場管アソシエイト・コンサートマスター、ザグレブ・フィルのソロ・コンサートマスターを経て、札幌、東響、京響のコンサートマスターを歴任。2007年ゲスト・コンサートマスターとしてモントリオール響に招かれ、ケント・ナガノと共演。ソリストとしても数多くのオーケストラと共演。指揮者としてはボリジョイ劇場でラザレフの下で副指揮者を務めたほか、札幌、東響室内合奏団などを指揮。札幌大谷大学教授。



©N. Ikegami

He won third prize at the Rodolfo Lipizzi Violin Competition and was a finalist at the Alberto Curci International Violin Competition, and in 2007 was invited to perform as guest concertmaster with the Montreal Symphony Orchestra. As a conductor, he has conducted the Tomsik Philharmonic Orchestra, the Sapporo Symphony Orchestra, the Croatian Chamber Choir, and the TSO Chamber Orchestra. He is a professor at Sapporo Otani University.

山下 守 YAMASHITA Mamoru

愛知県出身。名古屋大学医学部医学科、慶応義塾大学大学院経営管理科学研究科修士課程卒業。PhD医学博士(名古屋大学)、MBA 経営管理学修士(慶應義塾大学)、日本産婦人科学会認定専門医。名古屋大学環境病院産婦人科勤務を経て、2007年医療法人葵鐘会を設立しCEOに就任。地域に根ざした産科医療施設を各所に整備、全国で類を見ない産婦人科医療グループとして年間約10,500件の分娩数を誇る。また日本の周産期医療のアウトバウンドを東南アジア、アフリカで進めている。趣味はクラシック音楽鑑賞。専門は周産期、婦人科腫瘍、麻酔科、医療経営学。2024年より一般社団法人 愛知室内オーケストラ代表理事就任。



芥川也寸志(1925 ~ 1989)

弦楽のための三楽章

芥川也寸志は作家芥川龍之介の三男として生まれた。東京音楽学校本科、研究科において橋本國彦、伊福部昭らに学び、1949年に修了。翌年に行われた日本放送協会創立25周年記念管弦楽懸賞に《交響管弦楽のための音楽》(1949)が特賞入選したことで、一躍作曲界のホープと目されるようになった。

《トリプティーク (Triptyque)》というタイトルでも親しまれている《弦楽のための三楽章》は、1951年よりNHK交響楽団の常任指揮者を務めていたクルト・ヴェスのアメリカ楽旅に際して委嘱され、芥川が愛聴していたアレクサンデル・タンスマンの弦楽四重奏または弦楽合奏のための《トリプティーク (三連画)》(1930)に因んで名付けられた。芥川は1953年6月に團伊玖磨、黛敏郎と「3人の会」を結成、翌年1月に行われた最初の演奏会では、芥川らの作品と並んでタンスマンの《トリプティーク》が上田仁と東京交響楽団により演奏されている。

第1楽章(アレグロ)3部形式。全楽器の斉奏で主題が提示されたあと、この主題に基づく諸要素が小気味よく展開される。中間部では、ゆったりとした旋律が初めて現れるが、音楽は再び活気を取り戻し、勢いよく閉じる。

第2楽章(子守歌)(アンダンテ)3部形式。娘のために書かれた子守歌。弱音器付きのヴィオラで奏でられる主題は5拍子の律動に乗り、ゆったりと展開される。中間部は3拍子となり、音色の変化が楽想に彩りを添える。最後は、冒頭で出てきた素材が順番を替え、調性を変えて再現されて終わる。この楽章では楽器の胴を拳で叩く奏法が効果的に用いられているが、この奏法は、奇しくも同じ「トリプティーク」をタイトルにもつ芥川の師・伊福部昭の《土俗的三連画 (Triptyque Aborigène)》(1937)においても使用されている。

第3楽章(プレスト)ロンド形式。変拍子のリズミカルな主題は祭り囃子の太鼓を思わせる。この主題は次第に音域や音色を変え、おどけた表情や穏やかな性格の楽想をあいだに挟みながら、展開していく。最後は主題のリズムの勢いを受けて、一気呵成に結ばれる。

竹内 直 Text by TAKEUCHI Nao

作曲：1953年10月

初演：【世界初演】1953年12月4日ニューヨーク、クルト・ヴェス指揮、ニューヨーク・フィルハーモニック

【日本初演】1953年12月23日東京、クルト・ヴェス指揮、NHK交響楽団(放送初演)

1955年10月15日東京、芥川也寸志指揮、東京交響楽団(舞台初演)

編成：弦5部

8/15 FRI.

ルートヴィヒ・ヴァン・ベートーヴェン(1770 ~ 1827)

ピアノ協奏曲 第5番 変ホ長調 op.73「皇帝」

ピアノ協奏曲第5番「皇帝」は、言わずもがなの名曲だ。交響曲「運命」や「田園」を初演した直後に作曲が始められたとされる。しかし、完成後すぐには初演されず、しかもウィーンではなく現ドイツのライプツィヒで初演された。今回は、その初演について紹介しよう。1811年のライプツィヒの演奏会シーズンは、例年通り、9月29日の聖ミカエルの日に始まった。国際的な見本市の開催に合わせての開幕である。そして11月28日、そのシーズンの「第7回演奏会」で「皇帝」は初演されたのだ。演奏会はハイドンの二長調のシンフォニーで始まり、次いで、イタリア人作曲家フランチェスコ・モラルッキのオペラ「コッラディーノ」から、アリアや合唱などが歌われたあと、「皇帝」(プログラムには単にピアノフォルテ協奏曲)と記載)が演奏された。休憩後の後半はヴィンターのオペラ「コルマル」の序曲で始まり、モーツァルトの「フィガロの結婚」のフィナーレで終了となるプログラムだった。オーケストラの演奏会なのにオペラの抜粋ばかりなのは、当時の基本型。つまり、ごく普通の演奏会で、ごく普通に初演されたのである。

その演奏会の批評で「皇帝」は絶賛された。『総合音楽新聞』に掲載された評を引用しよう。「この世に存在する全ての協奏曲の中で、最も独自性が高く、最もファンタジー豊かで、最も演奏効果にあふれ、しかしながら、最も難しい作品であることに疑いの余地は無い。独奏をつとめた音楽監督のシュナイダー氏は、これ以上は考えられないというほど卓越した演奏を聴かせた。熟練度、明解さ、安定性、繊細さ、といった点だけではなく、精神的な意味でもすばらしかった。というのも、彼は、作品の隅々まで、全体的な構成はもとより、ひとつひとつの細かい部分まで、作品の意味、そして作品の意図まで完全に理解して演奏していたからだ。またオーケストラも、作曲家に対してははっきりとした愛と敬意をもって演奏し、作品およびソリストに、まったく思い描いたように寄り添った。演奏は、大勢の聴衆を、通常の賛辞の言葉では表現できないくらい熱狂させた。」

さて、この世に存在する全ての協奏曲の中で最も難しい「皇帝」は、メンデルスゾーンがロンドン・デビューした時の「持ち曲」だった。メンデルスゾーンは、ピアノパートを暗譜で演奏し、これが「皇帝」のロンドン初演となった。1829年6月24日のことである。

第1楽章 アレグロ

第2楽章 アダージョ・ウン・ポコ・モート

第3楽章 ロンド：アレグロ，マ・ノン・トロツポ

小石かつら Text by KOISHI Katsura

作曲：1808年～1809年

初演：1811年11月28日ライプツィヒ

編成：独奏ピアノ、フルート2、オーボエ2、クラリネット2、ファゴット2、ホルン2、トランペット2、ティンパニ、弦5部

ルートヴィヒ・ヴァン・ベートーヴェン(1770 ~ 1827)

交響曲 第5番 ハ短調 op.67「運命」

冒頭からドラマ満載だ。

周知のように、愛称の「運命」にベートーヴェンは関与していない。このニックネームは、ベートーヴェンの身近にいた、と主張した著述家アントン・フェーリクス・シンドラー(1795~1864)の創作に基づく。

8分休符に導かれた例の4音動機(ツタ・タ・タ・ター)が第1楽章のみならず交響曲全体を貫き、ハ短調からハ長調への世界を緊密に構築してゆく。あの動機自体には先例や類似型もあるのだが、交響曲第5番の衝撃度は群を抜く。

第1楽章は、ベートーヴェンをベートーヴェンたらしめるアレグロ・コン・ブリオ(生き活きと、速く)。主題と3つの変奏、及びコーダ(終結部)で有機的に構成された第2楽章の滋味深さもまた格別で、ドラマ性にも事欠かない。「運命」動機とフーガの技法を巧みに織り交ぜた第3楽章の創りも斬新だ。フーガを含む変奏は、この作曲家が生涯追求した筆致である。

そして第3楽章から第4楽章への移行。「田園」「皇帝」同様、熟達期のベートーヴェンは後半楽章の連結・転換に凝った。最終楽章に導入されたトロンボーン3、ピッコロ1、コントラファゴット1の音響効果に驚く。音色(ねいろ)も音域も広がった。

トロンボーンは、教会と劇場の楽器、つまりミサ曲、レクイエム、オペラを担う楽器だった。神、あるいは人の声に寄り添う楽器を交響曲の最終楽章に持ってきたわけである。歓喜や祝祭を奏でるピッコロの音色も私たちに魅了してやまない。さりげなく存在感を醸す低音の要コントラファゴットにもご注目を。

作曲家の強じんな意志が念押しされるフレーズを経て、圧倒的なエンディングへ。動機の展開を究めたベートーヴェンは曲の最後にも「こだわり」をみせる。

フェルマータを伴う長音(トロンボーンのみ音を伸ばさない)での終結。19世紀初頭、こうした終わり方はミサ曲やレクイエムに多く、交響曲では異例の措置なのだ。

奥田佳道 Text by OKUDA Yoshimichi

作曲：1808年

初演：1808年12月22日ウィーン、アン・デア・ウィーン劇場

編成：ピッコロ1、フルート2、オーボエ2、クラリネット2、ファゴット2、コントラファゴット1、ホルン2、トランペット2、トロンボーン3、ティンパニ、弦5部

8/23 SAT. 24 SUN.

第733回 定期演奏会

2025年8月23日(土) 18:00 サントリーホール

Subscription Concert No.733

Sat. 23rd August 2025, 18:00 Suntory Hall

第142回 新潟定期演奏会

2025年8月24日(日) 17:00 りゅーとぴあ 新潟市民芸術文化会館 コンサートホール

Niigata Subscription Concert No.142

Sun. 24th. August 2025, 17:00 Ryutopia Concert Hall

アダム・ヒコックス [指揮]

谷 昂登 [ピアノ]

小林 幸成 [コンサートマスター]

Adam HICKOX, Conductor

TANI Akito, Piano

KOBAYASHI Issey, Concertmaster

リャドフ:交響詩「魔法にかけられた湖」
op.62(8')LIADOV : The Enchanted Lake
op.62(8')ラフマニノフ:ピアノ協奏曲 第2番
ハ短調 op.18(35')RACHMANINOFF : Piano Concerto No.2
in C minor op.18(35')

I.モデラート

II.アダージョ・ソステヌート

III.アレグロ・スケルツァンド

休憩(20')

I. Moderato

II. Adagio sostenuto

III. Allegro scherzando

Intermission(20')

ショスタコーヴィチ:交響曲 第10番
ホ短調 op.93(56')SHOSTAKOVICH : Symphony No.10
in E minor op.93(56')

I.モデラート

II.アレグロ

III.アレグレット

IV.アンダンテ - アレグロ

I. Moderato

II. Allegro

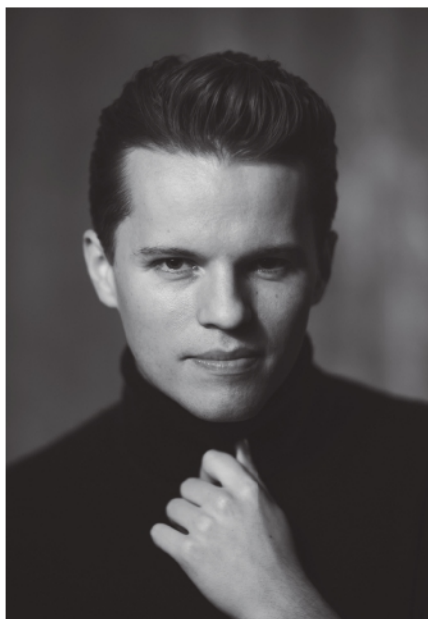
III. Allegretto

IV. Andante - Allegro

- 主催/公益財団法人東京交響楽団(8/23)、公益財団法人新潟市芸術文化振興財団、UX新潟テレビ21(8/24)
 ●助成/文化庁文化芸術振興費補助金(舞台芸術等総合支援事業(公演創造活動)) | 独立行政法人日本芸術文化振興会(8/23)
 文化庁文化芸術振興費補助金(劇場・音楽堂等機能強化推進事業) | 独立行政法人日本芸術文化振興会(8/24)

楽曲解説はP.17をご覧ください





Adam HICKOX

Conductor

アダム・ヒコックス
[指揮]

イギリス出身。2019年に指揮者デビュー後、その表現力豊かで卓越した解釈が高く称賛され、世界中で今、熱い注目を集める気鋭の指揮者。ケンブリッジ大学ゴンヴィル・アンド・キーズ・カレッジでロビン・ホロウェイに作曲と理論を学び、王立音楽院でシャー・エドワーズに指揮を師事。2019年から2022年までラハフ・シャニのもと、ロッテルダム・フィルハーモニー管弦楽団副指揮を務めた。2021年にはタングルウッド音楽祭指揮者フェローとして招待された。2023年12月、グラインドボーン・シンフォニアの首席指揮者に就任し、2025年9月からトロンハイム交響楽団の首席指揮者に就任することも発表されている。

これまでにパリ管、スイス・ロマンド管、ドレスデン・フィルハーモニー管、BBC交響楽団等を指揮。今シーズンは、フランクフルト放送交響楽団、ハンブルク交響楽団、オスロ・フィルハーモニー管弦楽団等へのデビュー、今回の東京交響楽団との共演はアジア・デビューとなる。

オペラの分野も熱心に取り組んでおり、オランダ国立歌劇場でヴァインベルク：歌劇「乗客」を、秋にはグラインドボーンで「ラ・ボエーム」を指揮する予定である。

British conductor Adam Hickox is praised repeatedly for his masterful and expressive interpretations and is in increasing demand across the world both on the concert platform and in the opera house. In September 2025 he takes up his position of Chief Conductor of the Trondheim Symphony, he continues his tenure as Principal Conductor of The Glyndebourne Sinfonia.

Season highlights include his debut with the Dresden Staatskapelle, Frankfurt Radio and Hamburg Symphony orchestras, the Oslo Philharmonic, and with the Tokyo Symphony Orchestra. In previous seasons, Hickox has conducted orchestras such as the Orchestre de Paris, Orchestre de la Suisse Romande, Rotterdam Philharmonic, Dresdner Philharmonie, Danish National Symphony, London Philharmonic and BBC Symphony.

Hickox is equally committed to the opera house and in 25/26 will make his debut at Dutch National Opera conducting Weinberg's The Passenger. He will also conduct Floris Visser's production of La bohème at Glyndebourne in Autumn 2025.

8/23 SAT. 24 SUN.



©井村重人

TANI Akito

Piano

谷 昂登
[ピアノ]

第90回日本音楽コンクール第1位及び岩谷賞(聴衆賞)、第20回浜松国際ピアノアカデミーコンクール特別賞、第38回霧島国際音楽祭賞及び堤剛音楽監督賞、第17回チェコ音楽コンクール第1位、第18回東京音楽コンクール ピアノ部門第2位(最高位)及び聴衆賞、2025年モロッコ・フィルハーモニー管弦楽団国際音楽コンクール第3位及びオーケストラ賞など、国内外の多数のコンクールにて入賞。

これまでに読売日響、東響、東京フィル、広響、新日本フィル、シティフィル、パシフィックフィルなどと共演。

ロームミュージックファンデーション2021、2022年度奨学生。江崎スカラシップ奨学生。宗次徳二奨学基金2023年、2024年度給付奨学生。第53回江副記念リクルート財団奨学生。

桐朋女子高等学校音楽科(男女共学)を首席で卒業後、現在、桐朋学園大学ソリスト・ディプロマコース(待待生)、および2023年9月よりケルン音楽大学在学中。

Akito Tani is the recipient of many awards. He won the Special Prize in the 20th Hamamatsu International Piano Academy Competition, and the Kirishima International Music Festival Award and Tsutsumi Tsuyoshi Musical Director Prize in the 38th Kirishima International Music Festival. He was also awarded the Second Prize (the highest prize awarded) and Audience Prize in the piano division of the 18th Tokyo Music Competition, the First Prize and Audience Prize in the 90th Music Competition of Japan.

Tani has performed with numerous orchestras including the Yomiuri Nippon Symphony Orchestra, Tokyo Symphony Orchestra, Tokyo Philharmonic Orchestra, and Hiroshima Symphony Orchestra.

Having graduated at the top of his class from the Music Department of Toho Gakuen Music High School, Tani is currently a scholarship student in the Soloist Diploma Course of the Toho Gakuen College Music Department and, since September 2023, a student at the Cologne University of Music.

アナトーリ・リャードフ(1855~1914)

交響詩「魔法にかけられた湖」 op.62

19世紀以来、ロシアの作曲家たちの多くは自国のフォークロア(民間伝承)に魅せられてきた。彼らにとってロシアの民話や民謡は作曲家としてのアイデンティティのよりどころとなっただけでなく、創作のインスピレーションや魅力的な題材を与えてくれる素材の宝庫でもあったのである。

19世紀後半から20世紀初頭に活躍した作曲家アナトーリ・リャードフもまた、ロシアのフォークロアに魅せられた作曲家のひとりであった。彼は独自の世界観を持った作曲家だった。というのも、彼が残した70曲近い作品はどれも比較的小規模な作品であり、ソナタや交響曲といった大作は手掛けていないのである。

彼の作品の多くは音の生みおとされた瞬間を繊細なタッチで書きとめたかのような一種の細密画であり、その筆遣いは彼が終生関心を持ち続けたフォークロアの世界を生き生きと、また、美しく幻想的に描き出す。本日演奏する交響詩《魔法にかけられた湖》op.62は、ロシアの伝説に登場する精霊を描いた《キキモラ》op.43、ロシアの有名な魔女を描いた《バーバ・ヤガ》op.56とともに、「3つのロシア民話」の中の1曲として作曲された。

《魔法にかけられた湖》は、特定の物語による作品ではなく、あたかもロシアの御伽噺に出てきそうな湖の情景を作曲者が想像しながら描いた作品である。「すべてが止まってしまったかのような湖の静けさのなか、突然何かが物音をたて、湖上をそよ風が吹き渡る」。リャードフはその情景についてこのように語っている。

向井 大策 Text by MUKAI Daisaku

作曲：1909年

初演：1909年、サンクトペテルブルク、ニコライ・チェレプニン指揮

編成：フルート3、オーボエ2、クラリネット3、ファゴット2、ホルン4、ティンパニ、タムタム、チェレスタ、ハープ、弦5部

8/23 SAT. 24 SUN.

セルゲイ・ラフマニノフ(1873 ~ 1943)

ピアノ協奏曲 第2番 ハ短調 op.18

1897年の《交響曲第1番》初演の大失敗により大きな精神的痛手を受けたラフマニノフは、しばらく作曲活動に身が入らなくなった。指揮活動などに力を注いでいたが、しばらく経った1900年春、創作意欲を蓄えて取り組み、結果的に「復活」のアピールとなったのがこの《ピアノ協奏曲第2番》である。一般にニコライ・ダーリ博士の暗示療法が功を奏して、作曲の意欲を取り戻したとされるが、当時、博士の家に滞在していた女性エレナにラフマニノフが恋心を抱いたとされ、むしろそれが曲のインスピレーションの源になったという説も存在する。

当時としては斬新だった《交響曲第1番》とはうって変わり、濃厚なロマンティズムが前面に出るこの作品は、初演時から好評を博し、当時すでに前衛的な音楽に夢中になっていた人々の間でも評判になったという。

第1楽章 モデラート 2/2拍子 ハ短調 自由なソナタ形式

鐘の音のようなピアノの和音が徐々に響きを増していく冒頭から大変印象的である。作曲家のメトネルは、「はじめから鐘が鳴るごとにロシアがすっと立ち上がるかのように感じる」と述べている。2つの主題は息の長いもので、抒情性と哀愁を伴い、さらにピアノソロが活躍する技巧的なパッセージも随所に挿入され、それが典型的な協奏曲の形式へと見事にまとめ上げられるその作曲技法はまさに職人芸的と言うほかない。

第2楽章 アダージョ・ソステヌート 4/4拍子 ホ長調 複合三部形式

1891年作の6手ピアノ連弾のための《ロマンス》の冒頭のアルペジオがこの楽章の主題の原型となっているが、これは幸福だった青春時代の追想だろうか。静寂が支配するなか、葉ずれや小川のせせらぎの音も聞こえてくる。

第3楽章 アレグロ・スケルツァンド 2/2拍子 ハ短調

舞曲風の音楽に始まり、めまぐるしい旋回運動が繰り広げられるが、それと対比されて抒情的な第2主題が置かれる。その第2主題に基づく堂々たるコーダは、エネルギーが最高潮に達し、圧巻である。

高橋健一郎 Text by TAKAHASHI Kenichiro

作曲：1900年～1901年

初演：1901年10月27日モスクワ、ラフマニノフ自身の独奏ピアノ、アレクサンドル・ジロティ指揮、モスクワ・フィルハーモニー協会

編成：独奏ピアノ、フルート2、オーボエ2、クラリネット2、ファゴット2、ホルン4、トランペット2、トロンボーン3、チューバ、ティンパニ、大太鼓、シンバル、弦5部

ドミトリー・ショスタコーヴィチ(1906~1975)

交響曲 第10番 ホ短調 op.93

本作は、1953年3月のスターリンの死後すぐに着手され、この独裁者の時代を描いたものと語られてきたが、その説はいまは疑問視されている。実際にはもっと早くから着手されており、たとえば第1楽章の素材は、1945年頃に作曲され結局は破棄されたヴァイオリン・ソナタの素材と関連している。

1990年代以降には別の事実も明らかになった。ショスタコーヴィチが第3楽章やフィナーレで、自身の名前のドイツ語つづり“D. S. Hostakovich”を音名に読み替え、これを重要な音型(譜例1)として使っている、というのはよく知られる。

じつは第3楽章では、もうひとつ別の音型(譜例2)をホルンが12回奏する。この音型は、モスクワ音楽院の教え子の名前エルミーラに由来するといわれる。本作が集中的に作曲された1953年、作曲者とエルミーラの交流は盛んになる。彼女への想いという隠れたプログラムが読みとれそうだ。

譜例1:ショスタコーヴィチの署名



譜例2:ホルンの音型



第1楽章:モデラート 3/4

序奏を経てクラリネットが第1主題、フルートが第2主題を奏する。第2主題は「24の前奏曲とフーガ」におけるフーガ第24番の主題とも関連している。

第2楽章:アレグロ 2/4

以前(上述)は「スターリンを音楽的に描写したもの」といわれてきた。

第3楽章:アレグレット 3/4

ホルン音型は、マーラー作「大地の歌」第1楽章冒頭に登場するホルンのフレーズに類似している。ショスタコーヴィチ自身はこのフレーズを、中国で不吉の象徴とされる「大猿の鳴き声」と呼んでいる。

第4楽章:アンダンテ 6/8 ~アレグロ 2/4

ホルン音型の最後は、5度(D-A音)を形成している。この5度は序奏の木管ソロをはじめいたところで聴かれ、じつに暗示的だ。

西田紘子 Text by NISHIDA Hiroko

作曲:1946年~1953年秋

初演:1953年12月17日レニングラード、エフゲニー・ムラヴィンスキー指揮レニングラード・フィル

編成:ピッコロ1、フルート2(ピッコロ持替1)、オーボエ3(イングリッシュホルン持替1)、クラリネット3(小クラリネット持替1)、ファゴット3(コントラファゴット持替1)、ホルン4、トランペット3、トロンボーン3、チューバ、ティンパニ、大太鼓、小太鼓、タンバリン、シンバル、トライアングル、タムタム、シロフォン、弦5部



Symphony Lounge [シンフォニー・ラウンジ]

迷宮の中の交響曲： ショスタコーヴィチ 第5番と第10番を例に

梅津紀雄（音楽評論家）

ソ連時代のロシアの作曲家ショスタコーヴィチ(1906~75)は15曲の交響曲を遺した。それらは構成や編成、テーマにおいて多様だが、特に議論されてきたのが第5番と第10番である。1937年と53年、創作時期は異なるが、多くの共通点がある。例えば、ともに4楽章形式で標題がない。緊密に構築された第1楽章は主題の劇的な変容によって特徴づけられるソナタ形式である。解釈の点では(後に偽書とわかる)、1979年のヴォルコフ編「ショス

タコーヴィチの証言』出版以降、西側ではソ連体制批判の楽曲とみなされてきた。それぞれプラウダ批判とジダーノフ批判を受けて立場を危うくしていた作曲家が交響曲の成功で復権を果たした点も特筆される。他方で、新史料や分析によって、いずれにもミューズとなった女性があり、その存在が作品に埋め込まれていて、他の作曲家の作品とも関係すること、それらによって『証言』以降の社会的読解に、私的な解釈が加わるようになったことも挙げられる。

交響曲第5番は1937年、いわゆる大粛清のさなかに作曲・初演された。前年の1月、新聞『プラウダ』は形式主義批判のキャンペーンを開始していた。第一の標的となったのがショスタコーヴィチだった。当時の最高指導者スターリン自身が関わっており、批判記事には彼の個人的な意見が反映されていた。この危機に際して、後の文化省である芸術問題委員会の長ケルジェンツェフに面会した作曲家は、批判を受け入れたことを「創作活動で示したい」と述べた。そして作曲中だった交響曲第4番の創作を継続し、初演のリハーサルを迎えたが、楽団員らの当惑や官僚の「助言」に直面して、演奏を断念した。万を期して発表された交響曲第5番は1937年11月、レニングラードで新進指揮者ムラヴィンスキーによって初演され、大成功を収めた。モスクワ初演の際、ショスタコーヴィチはある批評家の言葉として、作品を「正当な批判に対するソ連芸術家の実践的創造的解答」と定義した。それは聴衆の理解に合致していた。作曲家シャポーリン

の妻は日記に書いた。「聴衆は皆立ち上がり、熱狂的に拍手した。それは、哀れなミーチャが受けてきたすべての迫害に対する示威行動だった。皆が同じ言葉を繰り返していた。答えた、それも素晴らしく答えた、と」。

前述の『証言』では、第5番のフィナーレは「強制された歓喜」とされて、多くの西側の聴衆を当惑させた。だがソ連では当初からフィナーレの「歓喜」に対する違和感が表明されていた。例えば、作家ファデーエフは「フィナーレは出口(まして歓喜や勝利)にはなっていない。むしろ誰かに対する刑罰が復讐のように聞こえる」とモスクワ初演後に書いていた。第4楽章への自作の歌曲《復活》からの引用は、批判された自作の復活の期待を示すものとして理解され得るし、コーダにおいて弦楽器が繰り返すA音は、釘を打ち付ける音とも、作曲家自身の勝利を指すとも指摘された。ティンパニを覆い隠す太太鼓(fff)についての作曲家・西村朗の指摘も重要だ。他方、以前から指摘のあったビゼーのオペラ《カルメン》との関係は、エレナ・コンスタンティノフスカヤというミューズの存在によって補強され、その夫がロマン・カルメンだった、という尾鰭もついた。

交響曲第10番は1953年3月のスターリン没後に創作・発表された。第9番(1945)以来の新作交響曲だった。この8年間の沈黙は、第9番が被り、そしてショスタコーヴィチを初めとした指導的な作曲家たちが被ったいわゆるジダーノフ批判に起因している。作品を覆う悲劇性は、いわゆる「第十論争」をもたらした。本作を日本初

演した東京交響楽団の機関誌『シンフォニー』はこの論争をいち早く伝えた。この作品には明確な敵対勢力が存在した。初演者ムラヴィンスキーは、レニングラードに続くモスクワ初演に際し、彼らが「リアリズムに異質な、悲観的な作品」というレッテルを貼って初演を失敗に追い込もうとしたことを回想する。ショスタコーヴィチが復権すれば、この間に権勢をふるった守旧派は失墜する危険があったし、それは現実化して起こったことだ。

第10番の第2楽章を『証言』は「スターリンの肖像」と断じた。第3・第4楽章に登場する作曲家自身の音名象徴DSCHとともに、当時から議論があり、例えばヤルストフスキーは第2楽章を「悪の力の肖像画」とし、DSCHを交響曲の主人公の形象と解釈していた。第3楽章に現れ、全く展開されずにホルンによって繰り返されるモティーフは謎であったが、これもエリミール・ナジロヴァ本人が認めて、第10番にもミューズが存在したことがわかった。その際、マラーの《大地の歌》もが念頭に置かれていたことも判明した。さらに、同じくヤルストフスキー(そして作曲家・吉松隆)の指摘にあるように、リストの《ファウスト交響曲》との関係も憶測されている。ある意味では第5番以上に謎めいているかもしれない。

両曲のいずれも、同時代のソ連での認識が『証言』の前提をなし、新資料の発見や分析によって解釈の軸が揺れていくさまが窺える。実は以上に織り込めなかった要素も多い。ショスタコーヴィチ作品の探求はまだ続いていくことだろう。

※ショスタコーヴィチ:交響曲第5番は2026.3/28「第738回定期演奏会」原田慶太楼の指揮で演奏します。
詳しくは公式サイトをご覧ください。

Together With TSO

for Music Lovers

東京交響楽団サポート会員

©N. Ikegami

ご芳名（敬称略）

法人会員

プラチナ会員

株式会社エイチ・アイ・エス
株式会社ドワンゴ

ダイヤモンド会員

有限責任 あずさ監査法人
株式会社伊藤総合事務所
株式会社イノアックコーポレーション
株式会社インサイド・アウト
環境ステーション株式会社
株式会社すかいらくホールディングス
株式会社ティー ワイ リミテッド
株式会社日本財託
株式会社パソナグループ
株式会社雅玖仁

ゴールド会員

株式会社青山メインランド
株式会社あ佳音
オリエンタル酵母工業株式会社
サントリーホールディングス株式会社
社会医療法人財団石心会
玉川学園・玉川大学
中外製薬株式会社
銚子屋油槽船株式会社
株式会社TFDコーポレーション
株式会社鉄鋼ビルディング
株式会社トーションパートナーズ
西松建設株式会社
株式会社NIPPO
株式会社日本M&Aセンター
ヒノキ新薬株式会社
司法書士法人ふなざき総合事務所
ミヨシ油脂株式会社
ヤマザキビスケット株式会社
税理士法人渡邊芳樹事務所

シルバー会員

株式会社NHKビジネスクリエイト
公益財団法人青梅佐藤財団
川崎信用金庫
松竹株式会社
月島食品工業株式会社
東京鐵鋼株式会社
司法書士法人村田事務所

ブロンズ会員

アーティスト ホールディングス株式会社
NPO法人かわさき市民アカデミー
酒蔵駒八 別館
株式会社シグマコミュニケーションズ
新宿村スタジオ
有限会社青史堂印刷
ニッシンエレクトロ株式会社
富士フィルムビジネス
イノベーションジャパン株式会社神奈川支社
前山歯科医院
株式会社LALLヒューマンホールディングス

賛助企業

政鬼運輸株式会社
山崎製パン株式会社

匿名2社



©N.kegami

東京交響楽団へご支援いただいている皆様です。心より感謝申し上げます。

*新会員の方です。ありがとうございます(7月15日現在。五十音順)。

ご芳名 (敬称略)

個人会員

サークル50

伊藤 晴美
伊藤 美樹
沖田 陽子
鷺海 量明
木暮 紀子

澤田 秀雄
清水 尚彦
山口 積恵
山口 学
匿名 4名

サークル25

荒木 陽子
猪田 隆文
井上 孝昭
岡野 一哉
加藤 英輔
後藤 実

手塚 和彦
戸川 二郎
長瀬 雅則
平山 智史
山本 誠一郎
匿名 3名

サークル10

天野 佳和
五十嵐 建平
井澤 菜緒子
石川 晴依世
井上 千恵子
若田 新
内山 誠彦
梅沢 麻衣
遠藤 秀和
大城 明幹
大崎 明子
大島 肇
太田 純子
大塚 具幸
大類 浩
岡 邦子
尾崎 茂
小野 久子
片山 泰輔
片山 千栄
金山 尚弘
金田 好生
金賀 賢市
菊池 光剛
池内 正則・道子
小林 光
古丸 健
近藤 和喜夫
斎藤 脩司
佐々木 真
佐野 明勝
清水 幹雄
白井 恭一
高澤 美貴子
高田 光宮
高津 麻子

高野 幸一
高島 琢己
高家 正行
田口 之博
田中 忍
田中 啓一
谷藤 明雄
千葉 清隆
角田 直子
中澤 守正
中村 豊
成瀬 倉祥
西谷 公男
橋本 純一
原田 美保子
アーネスト M. 比嘉
枇杷 高志
星 久人
増岡 聡一郎
三浦 加香
水越 睦美
満田 高久
峯岸 恭博
森口 京子
森口 健
森口 優子
森下 国彦
森下 昭
八鍬 昭
山上 典彦
山口 重雄
山本 久美子
古井 美恵子
米岡 修一
匿名 15名

フレンズ5

東 恭代
有江 純子
石原 祥子
潮田 伊織
大川 朋彦
大野 紀子
奥秋 和彦
加藤 政晴
河野 愛
小林 義彦
佐藤 信一郎
塩澤 誠司
高際 比呂志

寺西 基之
*中尾 守
中島 信男
長谷川 泰弘
早川 利郎
松信 正志
村松 秀幸
山口 智聡
山田 修造
山本 喜良
吉田 哲四郎
渡邊 純一
匿名 4名

フレンズ3

秋山 真一郎
明田 重樹
荒 洋一
有坂 あかり
石澤 卓志
井上 惠恵
井上 聡
岩瀬 正明
大崎 純
大津 透
大塚 啓一
大塚 啓司
大塚 展男
大塚 昌資
小川 康恭
奥田 桂子
小澤 俊文
尾島 夕里
小田切 明子
皆瀬 修
加香 雄一
加藤 由美子
兼子 伸彦
菊池 綾
菊池 伸治
*木鋪 裕
北川 洋
木下 盛弘
久保田 一穂
小木曽 孝
古杉 絢
小林 美智子
佐久間 明美
佐藤 悦子
佐藤 健司
清水 良枝

新保 和浩
杉田 弘也
須田 眞理子
関根 三善
竹内 あゆみ
生田 美貴子
田山 智広
都築 崇明
中村 元嗣
中村 幸雄
永井 洋一
浪川 淳子
成田 清美
西田 悦子
西田 尚弘
根本 直之
根江 暢明
野島 秀太郎
早川 克己
林 美奈子
福田 昭夫
藤田 栄
藤田 淑子
藤野 盾臣
星 直樹
堀江 智巳
松下 一彦
三橋 正典
村田 拓郎
森本 由希
森山 健治
安江 仁孝
山田 敏之
山中 喜義
鎗水 みお
横尾 順

吉富 真紀子
吉原 美紗恵

渡辺 敦郎
和田 真理
匿名 29名

フレンズ1

■あ
相磯 浩
青木 眞輝
青野 寛道
赤坂 佳子
赤崎 述子
赤塚 節恵
秋元 淳志
朝倉 わか子
浅里 文男
安達 郁夫
足立 めぐみ
穴水 幸子
阿部 浩子
阿部 靖彦
阿部 百合子
新井 祥一
池田 裕美
池田 利昭
石井 弘毅
石川 誠子
石川 由紀
*石渡 政徳
磯村 幸一郎
井手 泰宏
伊藤 勉
伊藤 晴子
伊藤 宗功
伊藤 力雄
稲葉 順一
井上 康志
猪瀬 正
今井 聡
今井 由紀夫
今井 邦男
今宮 美知子
今村 知子
今村 裕
岩瀬 淳子
岩瀬 順子
岩野 裕一
上田 洋子
白居 正昭
内海 重男
内田 誠
宇野 正芳
梅里 拓志
梅原 秀元
梅本 千枝子

瓜生 こそえ
江藤 祐子
大川 剛
大越 貴志子
大嶋 孝義
大島 初彦
大島 康彦
大島 裕美子
大塚 賀久
大友 英司
大賀 由香
大畑 喜信
大堀 慶裕
大森 悦子
大森 幸吉
大八木 節子
岡田 政顕
岡田 正道
岡田 美穂
岡野 明徳
岡村 兵衛
小川 幾子
小川 徹
沖 知子
奥秋 和歌子
奥泉 亮子
奥田 由美子
奥田 壮史
奥村 克彦
*小倉 茂
小倉 ヒロ
小倉 ミチエ
尾崎 正美
小名 雅恵
小野 信也
小野 英樹
尾野 知子
小野塚 純二
■か
甲斐 幸士
海藤 慶子
*香月 大樹
方波見 和雄
葛城 伸一
*加藤 聖隆
加藤 洋子
加藤 里加子
梶沢 頼子
川口 善行

Together With TSO

for Music Lovers

東京交響楽団サポート会員

©N.Ikegami

東京交響楽団へご支援いただいている皆様です。心より感謝申し上げます。

*新会員の方です。ありがとうございました(7月15日現在。五十音順)。

川名 康一
川野 安子
菅野 裕美子
菅野 広和
菅野 雄平
北村 雅子
木下 眞
木下 泰子
木村 亮平
木村 好一
木村 達央
木村 富士子
清田 一正
久保田 伸一
倉谷 宏樹
栗原 潔
小石 恵子
小泉 博
好土崎 穂子
河野 太
国府 里美
国府 保周
小沼 敬四郎
小林 恭二
小林 宏州
小林 浩
小林 優大
小森 クミオ
小山 智代子
近内 光一
近内 友吏子
後藤 純子
後藤 美穂
後藤 裕二
■さ
齊藤 ひろ子
齊藤 博
齊藤 美陽
齊藤 有司
酒井 典子
坂本 ダカ子
前刀 禎明
佐久間 昭宏
櫻井 智子
佐々木 紀明
佐々木 通博
佐々木 基
佐藤 幸子
佐藤 大助
佐藤 孜
佐藤 深雪
佐藤 美和子
佐藤 由紀子

重成 俊郎
茂野 宗太
戸穴 雅一
篠田 一朗
柴橋 俊也
渡川 朋子
嶋谷 宏明
清水 重夫
清水 元
志村 崇
下田 和代
庄司 一彦
白石 大啓
杉山 次慎
鈴木 慎二
鈴木 慶子
鈴木 啓介
鈴木 孝治
鈴木 隆之
鈴木 忠明
鈴木 美和
調訪 幸恵
清水 穂名美
清水 翔太
関 優太
関 洋
関口 あずみ
■た
高木 敏和
高木 晴彦
高野 洋二
高橋 勝弥
高橋 美穂
高橋 有一
高橋 由美
高橋 ユリコ
高橋 里奈
高松 則雄
坂本 幸男
竹内 聖子
竹内 真也
竹内 みお
竹内 竜太
竹内 武彦
竹腰 正隆
竹下 裕行
武田 裕和
多田 泰三
田中 敬子
田邊 禎二
田淵 泰弘

田部井 美也
玉井 正浩
千葉 晴久
塚田 絵里
築館 和男
津久井 玲子
坪井 淳
坪井 洋一
鶴岡 敬一
寺田 治男
東條 保子
遠山 淳夫
登原 明史
富田 泰雄
富田 博之
友近 圭祐
荻森 祥悟
豊島 峯生
鳥居 順子
鳥居 夕紀夫
■な
中沢 忠
中西 容子
中村 治人
長岡 達
長瀬 秀成
永田 利明
永田 郁子
永浜 啓介
新倉 直実
西岡 昌紀
西岡 晶
西川 陽子
西中川 淑子
西村 淳夫
西村 真
西村 由里子
西山 英昭
野口 信弘
野口 真有美
野村 一成
野村 真澄
■は
橋爪 千鶴子
橋本 和雄
橋本 憲人
橋本 博
長谷川 博
長谷川 真
早川 明男
林 欣吾
林 修子
林 博子
林 真喜子
林本 秀範

原 ひとみ
原 慶子
原 京子
春川 泰子
坂東 恵子
肥後 亜樹
榎谷 行雄
平田 亮文
平野 克文
廣瀬 直行
廣中 茂実
深沢 英和
福嶋 鋼一
藤田 綾子
藤田 透子
藤田 雄二
藤田 美樹
古市 清敬
古澤 光樹
古屋 由利子
堀 浩史
堀川 信子
■ま
牧口 光郎
真木 太郎
真木 正司
真木 明
真木 秀樹
真木 聡
真木 泰之
真木 繁純
真木 純雅
真木 則隆
真木 弘
真木 晴彦
真木 純子
真木 悦子
真木 雅之
真木 健司
真木 哲
真木 信夫
真木 昇
真木 陽子
真木 誠司
真木 卓也
真木 信幸
真木 京子
真木 英一
真木 里美
真木 政和
真木 喧子
■や
柳沼 美智子

山内 隆幸
山縣 裕児
山岸 勇一郎
山口 あすか
山崎 純代
山田 美生子
山本 博
湯川 俊明
吉江 健志
吉岡 真紀子
吉田 昌敬
吉富 美紀
吉見 幸子
米田 徹
米田 光
米村 恵子

米谷 克幸
■わ
渡邊 朋子
C.S.
N.S.
T.Saito
匿名 133 名

■栄誉会員
ヨコ・ナガエ・
チェスキーナ

遺贈・相続ご寄付(敬称略)

竹内 容子
齊藤公治メモリアル基金
牧野 季子
岡橋 純男
岡橋 孜

法人定期会員

【定期演奏会】
東京コンテナ工業株式会社



特別後援会員制度のご案内

当楽団では公演の1営業日前までにご欠席の連絡をくださった方には、入場券代はお返し致しますが、特別後援会員として1年間定期公演のプログラムにお名前を掲載させていただきます。当団主催公演の入場券を5%引き(TOKYO SYMPHONY チケットセンター扱い分のみ)にてお求めいただけます。お求めの際に特別後援会員であることをお申し出ください。なお、対象となる演奏会は当団が指定する主催公演です。

安齋 優
清水 達
東 由美子
星 直樹
前田 泉
森山 雅一郎
山本 淳一
匿名 9 名
(敬称略)

ご連絡はTOKYO SYMPHONY チケットセンター
044-520-1511へお電話をお願いいたします。



<東京交響楽団サポート会員制度>

東京交響楽団は、一流指揮者の招聘やチャレンジングなプログラミングによる定期演奏会の充実、次世代を担う子供たちの育成等、これまで以上に積極的な演奏活動を展開し、音楽文化の向上に努めて参ります。
そのために不可欠な運営基盤の強化のため、広くご支援をお願いしております。みなさまのご入会を心よりお待ちしております。

個人会員

フレンズ1

年額**1万円**
～29,999円

フレンズ3

年額**3万円**
～49,999円

フレンズ5

年額**5万円**
～99,999円

サークル10

年額**10万円**
～249,999円

サークル25

年額**25万円**
～499,999円

サークル50

年額**50万円**～

法人会員

東京交響楽団とのパートナーシップは、御社のイメージアップにつながるだけではなく、従業員の皆様の福利厚生にもつながります。

ブロンズ

年額**10万円**～

シルバー

年額**30万円**～

ゴールド

年額**50万円**～

ダイヤモンド

年額**100万円**～

プラチナ

年額**1000万円**～

会員特典

詳細はHP、
又はお電話でお問合せ下さい

	法人会員	サークル会員	フレンズ会員		
			フレンズ5	フレンズ3	フレンズ1
主催公演へご案内	○	○			
ゲネプロ見学会(年3回以上)	○	○	○	○	
リハーサル見学会(年3回以上)	○	○	○	○	○
ご芳名掲載	○	○	○	○	○
主催公演チケット先行予約*1	○	○	○	○	○
公演チケットをご優待価格にてご案内*2	○	○	○	○	○

*1 一部対象外もございます。*2 東京交響楽団の主催公演およびミュージアムザ川崎シンフォニーホール主催公演が対象です。一部対象外もございます。

税制上の優遇措置について

東京交響楽団は内閣府より公益財団法人の認定を受けており、当楽団への御寄附には税制上の優遇措置が施されます。

◎個人の場合:「寄附金額から2,000円引いた金額」の40%分³について、税金(所得税・個人住民税)を控除されます。

また相続税にも控除が適用されます。

◎法人の場合:「損金算入限度額」が一定の算式に従い、拡大されます。³

³但し、各該当法令で定められた限度があります。

その他、マッチングギフトやご遺贈、相続ご寄付についてもご案内させていただいております。

公式サイトからクレジットカードでサポート会員にご入会(ご寄付)いただけます。

<http://tokyosymphony.jp/support/procedures.html>



サポート会員へのご入会・お問合せ TEL 044-520-1518

公益財団法人東京交響楽団川崎オフィス 支援開拓本部 E-mail supporters@tokyosymphony.com

NEWS & TOPICS

正 楽 員

2025年8月1日付

渡辺沙羅

WATANABE Sara [ハープ奏者]

桐朋学園大学卒業。同大学研究科1年次在学中にオーディションに合格し、入団。
第9回横浜国際音楽コンクール第1位、他受賞多数。2024年小澤征爾塾オペラ・プロジェクトに参加。篠崎史子氏に師事。



東京交響楽団のライブ収録CDが、続々発売中！

東響SHOP(公演会場・オンライン)でも取り扱いが
ございます。是非お買い求めください。

東響SHOP



新発売 音楽監督ジョナサン・ノット&東京交響楽団

ブラームス:交響曲 第2番

録音:2023年7月15日 ミューザ川崎シンフォニーホール、7月16日 サントリーホールにてライブ収録
税抜価格:3,500円/ 2025年7月23日発売



新発売 音楽監督ジョナサン・ノット&東京交響楽団

ベートーヴェン:交響曲 第2番、交響曲 第5番「運命」

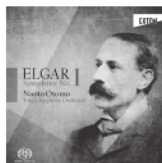
録音:(第2番)2022年11月26日サントリーホール、11月27日ミューザ川崎シンフォニーホール、
(第5番)2024年12月7日サントリーホール、12月8日ミューザ川崎シンフォニーホールにて
ライブ収録
税抜価格:3,500円/ 2025年7月23日発売



新発売 名誉客演指揮者大友直人&東京交響楽団

エルガー:交響曲 第1番

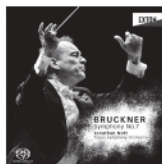
録音:2024年7月7日 東京オペラシティコンサートホールにてライブ収録
税抜価格:3,500円/ 2025年7月23日発売



音楽監督ジョナサン・ノット&東京交響楽団

ブルックナー:交響曲 第7番(ノーヴァク版)

録音:2024年7月20日サントリーホールにてライブ収録
税抜価格:3,500円/ 2025年4月16日発売



音楽監督ジョナサン・ノット&東京交響楽団

ベートーヴェン:交響曲 第6番「田園」、交響曲 第1番

録音:(第1番)2019年7月27日ミューザ川崎シンフォニーホール、
(第6番)2023年11月11日サントリーホールにてライブ収録
税抜価格:3,500円/ 2025年3月19日発売



NEXT PROGRAM

9/20 東京オペラシティシリーズ 第147回
(土) 14:00 東京オペラシティコンサートホール



指揮: ジョナサン・ノット
フルート: 竹山 愛 (東響首席)
オーボエ: 荒木良太 (東響首席)
ソプラノ: 森野美咲

ハイドン: 交響曲 第83番
リゲティ: フルート、オーボエと管弦楽のための二重協奏曲
リゲティ: 歌劇「ル・グラン・マカーブル」より「マカーブルの秘密」
モーツァルト: 交響曲 第41番「ジュピター」

S¥8,500 A¥6,500 B¥4,500 C¥3,500

9/27 第734回 定期演奏会
(土) 18:00 サントリーホール
28 川崎定期演奏会 第102回
(日) 14:00 ミューザ川崎シンフォニーホール

指揮: ジョナサン・ノット
ソプラノ: カタリナ・コンラディ
メゾソプラノ: アンナ・ルチア・リヒター
エヴァンゲリスト (テノール): ヴェルナー・ギューラ
イエス (バリトン): ミヒャエル・ナジ
テノール: 櫻田亮、バリトン: 萩原潤、バス: 加藤宏隆

合唱: 東響コーラス
合唱指揮: 三澤洋史
児童合唱: 東京少年少女合唱隊
児童合唱指揮: 長谷川久恵

J.S.バッハ: マタイ受難曲 (字幕付き)

[9/27] S¥14,000 A¥11,000 B¥9,000 C¥7,000 P¥4,000
[9/28] S¥13,500 A¥10,500 B¥8,500 C¥6,500 P¥4,000



TOKYO SYMPHONY チケットセンター 044-520-1511 (平日10:00 ~ 18:00 / 土日祝休)

10/19 第143回 新潟定期演奏会
(日) 17:00 リゅーとびあ 新潟市民芸術文化会館 コンサートホール

指揮&ヴァイオリン: 佐藤俊介、フルート: 竹山 愛 (東響首席)、濱崎麻里子 (東響奏者)
オーボエ: 荒木良太 (東響首席)、最上峰行 (東響奏者)、浦脇健太 (東響奏者)
ファゴット: 福井蔵 (東響首席)、ホルン: 上間善之 (東響首席)、加藤智浩 (東響奏者)、チェンバロ: 重岡麻衣

フレミング: 完全なるドイツ獵師より「ファンファーレ」
J.S.バッハ: ブランデンブルク協奏曲 第1番
フックス: ロンド ハ長調
J.S.バッハ: ブランデンブルク協奏曲 第5番
J.S.バッハ: ブランデンブルク協奏曲 第3番
テレマン: 2つのオーボエとヴァイオリンのための協奏曲
J.S.バッハ: ブランデンブルク協奏曲 第4番

S¥7,500 A¥6,000 B¥4,500 C¥3,000 P¥2,000



©Marco Borggreve

リゅーとびあチケット専用ダイヤル025-224-5521(11:00 ~ 19:00 / 休刊日除く)

東京交響楽団

川崎市フランチャイズオーケストラ
新潟市準フランチャイズオーケストラ



公式サイト <https://tokyosymphony.jp>



1946年、東宝交響楽団として創立。1951年に東京交響楽団に改称し、現在に至る。現代音楽の初演などにより、文部大臣賞、毎日芸術賞、文化庁芸術作品賞、サントリー音楽賞、川崎市文化賞等を受賞。サントリーホール、ミュゼ川崎シンフォニーホール、東京オペラシティコンサートホールで主催公演を行うほか、川崎市、新潟市などの行政と提携し、コンサートやアウトリーチを積極的に展開、教育プログラム「こども定期演奏会」「0歳からのオーケストラ」も注目されている。また、新国立劇場のレギュラーオーケストラとして毎年オペラ・バレエ公演を担当。海外公演もウィーン楽友協会をはじめ59都市83公演を開催。2024年より、アジア全体の音楽文化の向上を図る「東京交響楽団アジア・プロジェクト」を展開している。さらに日本のオーケストラとして初の音楽・動画配信サブスクリプションサービスや、VRオーケストラ、電子チケットの導入などITへの取組みも音楽界をリードしており、2020年ペラ・バレエ公演でライブ配信した無観客演奏会は約20万人が視聴、2022年12月には史上最多45カメラによる《第九》公演を配信し注目を集めた。

近年は、音楽監督ジョナサン・ノットとともに、日本のオーケストラ界を牽引する存在として注目を集めている。特に、2022年よりスタートした「R. シュトラウス コンサートオペラシリーズ」は、音楽の友誌「コンサート・ベストテン」において、第1弾《サロメ》(2022年)が第2位、第2弾《エレクトラ》(2023年)が第1位に選出。2024年12月の第3弾《ばらの騎士》も大絶賛を博した。

桂冠指揮者に秋山和慶、ユベール・スダーン、正指揮者に原田慶太楼、名誉客演指揮者に大友直人を擁する。



The Tokyo Symphony Orchestra, together with music director Jonathan Nott, has been attracting attention as a leader in the Japanese orchestra world. Elektra in Concert Style(2023) won the 1st prize in the "Top 10 Concert 2023" following the 2nd prize of Salome in Concert Style(2022) on Ongaku no Tomo magazine. Der Rosenkavalier in Concert Style (2024) concluded the finale of R. Strauss project with a great acclaim. They won the Best Recording of Music Pen club Japan Award for Opera & Orchestra category and Tokyo Symphony Chorus, Orchestra's amateur chorus also won the prize for Chamber & Chorus category.

Highlights of past seasons with Mo. Nott include Symphony 9 by Beethoven filmed by 45 cameras, the largest record of the orchestra history live-streamed nationwide, Gurre-Lieder by Schoenberg celebrating 15th Anniversary of Muza Kawasaki Symphony Hall, TSO's home and Mozart's Da Ponte Operas in concert style. In March 2020, the live-streamed concert without audience on nico-nico Live Channel which attracted more than 200,000 viewers nationwide, has been a mega-hit in Japan.

Outside of Japan, the orchestra has performed 80 concerts in 59 cities since 1976. Tokyo Symphony Orchestra was founded in 1946 as Toho Symphony Orchestra, and changed its name to Tokyo Symphony Orchestra in April 1951, and has a reputation for giving first performances of a number of contemporary music and opera, and has been regularly performing various operas and ballets at the New National Opera Theatre, Tokyo since its opening in 1997.

マエストロ・シート

【5組10名の小・中・高校生無料ご招待】



NICO NICO
TOKYO SYMPHONY
ニニコ東京交響楽団



音楽・動画配信サイト
[TSO MUSIC & VIDEO
SUBSCRIPTION]
1か月550円(税込)



このプログラムは見やすさ・読みやすさに配慮したユニバーサル・デザインフォントを使用しております。

TOKYO SYMPHONY ORCHESTRA MONTHLY CONCERT BROCHURE

Symphony

Symphony 2025年(令和7年)8月号[非売品]

発行 公益財団法人東京交響楽団 〒169-0073 東京都新宿区百人町2-23-5 TEL 03-3362-6764
<川崎オフィス> 〒212-8554 神奈川県川崎市幸区大宮町1310
ミュゼ川崎セントラルタワー 5階 TEL 044-520-1518

Art Direction & Design : Be.To Bears 印刷 : NHKビジネスクリエイト

産婦人科グループ「ベルネット」

24時間365日、産婦人科医・助産師が待機し、
分娩・急患はいつでも対応いたします

無痛分娩
対応

女性医師
外来あり

産後ケア
対応

WEB
診療予約
(初診OK)



ベルネットのクリニック一覧(協力医療機関含む)

愛知県(名古屋市内)

産科・婦人科
キャッスルベルクリニック(西区)

産科・婦人科(不妊治療)・小児科
ロイヤルベルクリニック(緑区)

産科・婦人科・小児科
フォレストベルクリニック(守山区)

産科・婦人科・美容皮膚科
グレイスベルクリニック(中区)

愛知県(名古屋市内)

産科・婦人科・小児科
セブンベルクリニック(稲沢市)

産科・婦人科
グリーンベルクリニック(豊田市)

産科・婦人科・小児科
エンジェルベルホスピタル(岡崎市)

産科・婦人科
フェアリーベルクリニック(岡崎市)

産科・婦人科・小児科
オレンジベルクリニック(蒲都市)

産科・婦人科・小児科
パークベルクリニック(豊橋市)

産科・婦人科
リバーベルクリニック(豊川市)

産科・婦人科
メイプルベルクリニック(一宮市)

産科・婦人科
ピーチベルクリニック(安城市)

岐阜県

産科・婦人科
アルプスベルクリニック(高山市)

産科・婦人科・小児科
ローズベルクリニック(可児市)

産科・婦人科
アイリスベルクリニック(羽島市)

千葉県

産科・婦人科
リリーベルクリニック(成田市)

産科・婦人科
稲毛バースクリニック(千葉市)

静岡県

産科・婦人科
アザレアベルクリニック(掛川市)

大阪府

産科・婦人科
フラワーベルクリニック(堺市)

神奈川県

産科・婦人科
アクアベルクリニック(秦野市)



ベルネットが展開する各クリニックの
紹介や提供する医療サービスなど
WEBにて公開しております。